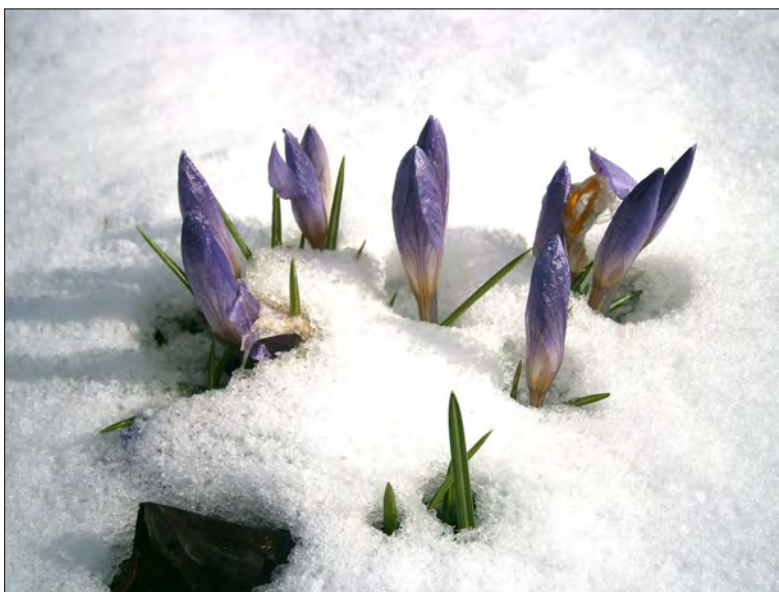




春分の日の祝い 新生の歓迎

「春ほどどこを見ても新しい命が芽生え生き生きとしている時はありません」
クリスティーナ・ロセッティ



セッティング

カラフルな布をかけたテーブルの回りに椅子を置く。テーブルの上には、水の入った器、土の入った鉢、種の入った小袋、春の花の植わった鉢など、春を象徴するものを置く。そしてテーブルの真ん中にろうソクを置く。

儀式・典礼

司会者：ウエルカム

本日は春分の日と、この地に生まれてくる新たな命を祝福するために集まりました。春の到来を告げる雪解け、クロッカスの新芽、久しぶりに聞く鳥のさえずり、さまざまな地球の春の香りに喜びを感じます。

ろうソクに火をともし

読者：春を祝うチヌーク族の讚美歌を聴きましょう



チヌーク族の詩編より：

どこを見ても新緑の芽が芽吹いている
これは地球の再生という見事な光景です
再び草が土を押し上げ生え始めている
松の木、モミ、アメリカツガ、トウヒ、シーダーの深緑の先に薄緑の新芽が覗い
ている
ハンノキにはすでに葉が生えている
梅の古木には花が咲き、葉が生え実がなり始める
イナゴはまたいつものように遅刻だ
どこからともなく鳥のさえずりが聞こえ、蜂群は果樹園を襲撃している
日暮れと共にアライグマは地をうろつき、ミミズは畑の土に穴を掘る
鶏は地をつつき、ウサギは野菜をかじる
ヤギも萌え出ずる新芽に食らいつく
これら全てはおなじみの命のエネルギーなのである

神よ、私たちに恵みたまえ、あなたの創造物に魅了され心動かされ、あなたの世界の新たな命にエネルギーをもらい、この新たな命を目で見るだけでなく、

手で触れることにより心動かされ
知るにより私達も親しんでもらい
愛することによって愛されますよう
私達の体と心と精神が、被造物全ての秩序に従ったリズムの振動という新たなリズム
を身につけることができますように。

司会者：ここでビバルディの「四季」の中から「春」の一部を聴きましょう
[ここでビバルディの「四季」をかける](#)

下記の質問事項について考えましょう：

- 外面的にはあなたにとってこの冬はどのように感じましたか？
- 内面的にはあなたはこの冬はどのように感じましたか？
- 今現在あなたの心に何か変化が起きていますか？
- 春に対して何か深い希望を抱いていることはありますか？
- 夏に花を咲かせるために今年の春はどのような新たな命の種を蒔きたいですか？

二人組になって、或いはグループによっては小さなグループになって、上記の質問事項
に関してお互いの思いやリフレクションを分かち合ひましょう。

司会者：春に思いを込めて一人ずつ種を手にして容器に植えてください。

全員が種を植え終わったら、エド・ヘイズ神父の次の祈りを祈りましょう。

声1：土の中の種たちよ
暗い地面の墓に埋もれている種たちよ
私の「春」というロウソクの炎が
暗黒を貫くとともに
あなたの柔らかな茎が土を押し上げ
風と雨と共に踊りたまえ
この小さな太陽のような炎が
私の目の前で踊っているように

声2：火の父よ、神秘の母よ、
春のレッスンを教えてください
木や灌木、花や植物など
全ての被造物が
アレルヤの豊かさの中

活気づいていき
復活していく中
神よ私も同じように
新たに生き返らせてください

声3：輝かしい春よ、教えてまえ
完全に死んでしまうものは何もないということ
を
例え私の体が死んでも
それは果てしない冬になるのではないことを
それは明らかになりつつある「命」という、謎
の道のりのほんの一部に
すぎないということ

声4：この記念すべき春分の日
新鮮な新たな誕生の活気を喜んで味わい
冬の冬眠から目覚め
若々しく希望に満ちて
神のみ前に精一杯生きながら



閉会の歌：マーティン・ホーゲン編の「[太陽の賛歌](#)」（1980年 G.I.A.社出版）、或いは他にあなたに喜びをもたらす讚美歌を歌ってください。